

平成 26 年 2 月

平成 25 年度（財）おきぎんふるさと振興基金

子どもたちと先生のための組踊鑑賞会「ありあり、くりくり組踊」

事業報告書

沖芸大琉球芸能専攻 OB 会

平成 25 年度（財）おきぎんふるさと振興基金
子どもたちと先生のための組踊鑑賞会「ありあり、くりくり組踊」 実施要綱

目 的

感性豊かな保育園児を対象とした組踊鑑賞会を実施することにより、沖縄の伝統文化「組踊」を体感していただきます。組踊は、音楽と舞踊そして唱えが組み合わされた楽劇です。

その内容は史実をもとに作られた作品が多く、城を舞台とした仇討ちものや親子の絆を描いたもの、恋愛をテーマとしたものなどがあります。

日 時

平成 26 年 2 月 7 日（金）午前 10 時～午前 11 時

日 時

南城市大里社会福祉協議会（研修室）
（南城市総合保健福祉センター内）

出 演

沖縄県立芸術大学 琉球芸能専攻 OB 会

対象保育園

むぎの子共同保育園（南城市大里字古堅）
こちの森保育園（八重瀬町字伊波）

参加費

無料

助 成

平成 25 年度（財）おきぎんふるさと振興基金

内 容

今回上演する演目は「女物狂」です。盗人が人形で子どもを誘い、連れ去ります。日が暮れ寺に一夜を乞うと、盗人が寝ている隙に子どもは逃げ出し、寺の座主らに助けを求めます。座主らの機転により盗人を絡め、子どもを無事母親と引き合わせる。という内容です。この演目を通して親子の絆の深さと、現代社会での防犯の大切さを訴えます。子どもたちに舞台芸術を鑑賞していただき、場面に応じて演じる側も感情移入が必要であることを体感していただきます。子どもたちの素直な反応には、これまで数十箇所の保育園公演において驚かされました。本編前にダイジェストにより分かりやすく解説をします。



実施日

2014（平成26）年2月7日（金）午前10時～午前11時

実施場所

南城市大里社会福祉協議会 研修室（南城市総合保健福祉センター内）

鑑賞参加者

むぎの子共同保育園（南城市大里字古堅）約20名

こちの森保育園（八重瀬町字伊波）約20名

引率の先生方、ご父母、施設内でデイサービスを受けられていたあばあちゃんたち。

プログラム

司会：知花小百合

- 1) 組踊解説（約5分）
- 2) 楽器の紹介（約5分）
- 3) 組踊「女物狂（うんなむぬぐるい）」ダイジェスト（約15分）
- 4) 組踊「女物狂」本編（約25分）

出演

【配役】

盗人 神谷武史
亀松 嘉数真希
母 山城垂矢乃
座主 石川直也
小僧 玉城匠

【地謡】

歌三線 玉城和樹 横目大哉
箏 新垣礼乃
笛 金城裕幸
太鼓 金城安恵

公演の様子



子どもが脅かされるシーンでは、一緒に「ありよーい！ありよーい！」を連呼。



「組踊」について紹介。



「楽器」の紹介。みんな良く知っています。





こわいおじさん「盗人」が登場すると、子ども達はパニックに。



「盗人」が捕まり、亀松とお母さんが再会すると拍手がおこりました。





終演。飛び入り見学のデイサービスのおばあちゃん達も喜んでくれました。



むぎの子共同保育園の子どもたち



こちらの森保育園の子どもたち



子どもたちから素敵な記念品をいただきました。



最後に

組踊をはじめ、琉球舞踊（古典、雑踊）、沖縄芝居、歌三線など、地域の皆さんは芸能鑑賞をする機会が思いのほか少なく、「本格的な鑑賞会をはじめて」などの声をよく聞きます。

今回、平成 25 年度（財）おきぎんふるさと振興基金を活用させていただき、子どもたちと先生のための組踊鑑賞会「ありあり、くりくり組踊」を上演できたことは、子どもたち、先生方、親御さん、そして地域のお年寄りの皆さんなど、関係者にとって大変有意義なものでした。

私ども沖芸大琉球芸能専攻 OB 会では、このように地元での芸能鑑賞会を多く開催できるよう活動していく所存です。

この度の助成、誠にありがとうございました。

2014（平成 26 年）2 月 28 日

沖芸大琉球芸能専攻 OB 会
会長 神谷武史